

幼児教育長期派遣通信 1学期号

発行 令和4年9月6日

福山市立光小学校 中崎 寛子（派遣園・所：福山市立新涯幼稚園）

本年度、「幼児教育長期派遣研修」として、福山市立新涯幼稚園で研修をしています。
本研修では、幼児教育の実践を体験することで、幼児教育への理解を深め、円滑な幼保小連携・接続に向けて、指導方法やカリキュラムの改善を図っていくことを目的としています。1学期号では、環境構成や教師の援助によって、子供たちが遊び込む中でどのように「学びの芽」を育てているのかについて紹介します。



1 1学期の研修内容

(1) 園内研修

- ・園児観察，教師による環境構成や援助の見取り ・園内環境の整備と安全点検
- ・行事に参加（進級式，誕生日会，避難訓練（火災・不審者），タマネギ・ジャガイモの収穫，クワイの苗植え，プール掃除，すくすくデー【小学校栄養教諭による食育指導】，七夕会，夏祭り）

(2) 園外研修

- ・幼児教育理解に係る研修会 ・所属校におけるスタートカリキュラムの参観
- ・接続に係る研修会 ・長期派遣研修報告会 ・福山市幼稚園教育研究会に参加
- ・乳幼児期の教育・保育研究協議会に参加

2 研修を通して

① 5歳児の「遊び」中心の1日について

福山市立新涯幼稚園 きりん組の1日	
8:30	登園 ・友だちや教師と挨拶を交わす ・持ち物の整理 出席シールを貼る
8:30～	自分で選んだ遊び ・やってみたい遊びや前日の遊びの続き等 ・身近な教育環境に自ら触れ合い，満足いくまで遊び，一人一人の育ちや力を発揮させ，友だちとの関わりを深める ・遊んだものを片付ける
11:00～	まとまりのある活動・振り返り（朝の集い） ・先生や友だちと一緒に活動する
12:00～	給食 （新涯小学校給食室で調理） ・様々な食材と出会い，食べ物について知り，友だちと一緒に楽しく食べる 自分で選んだ遊び・うさぎ当番
13:30	降園準備・帰りの集い ・絵本を読んだり手遊び・クイズなどで楽しむ ・明日への期待をもつ
14:00	降園 ・挨拶をし，保護者の迎えで帰る
～17:00	預かり保育

「遊び」の中で，感性を働かせて，試したり，工夫したりすることを通して，総合的に**5つの力**を育てていきます。

感じる・気付く力 身の周りの自然，人，出来事などで心が動き，興味を持って関わる中で，その面白さ，不思議さ，美しさ，心地よさ，辛さ，悲しさ，優しさなどを感じ取る力

うごく力 自分のやりたいことへ向かって，心や身体を積極的に働かせて取り組み，自分の身体をコントロールして遊んだり，状況に応じて適切な行動をとったりする力

考える力 やりたいことを実現するために，必要な物や情報などを集めたり，実現するための方法を考えたりする力

やりぬく力 困難や失敗があってもあきらめず，自分の気持ちを立て直し，「やればできる」という気持ちを持って，粘り強く取り組み，やり遂げる力

人とかかわる力 表情や言葉などを通して，互いの思いや考えを伝え合ったり，折り合いを付けたりしながら，多様性を受け入れ，様々な人とのよい関係を築く力

小学校教育へ

遊び 学び 育つひろしまっ子！

「遊び」を通して「探求の芽」が育っている広島の子供

学びの芽

（「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン 参照）

- ◆ 知識及び技能の基礎
- ♥ 思考力、判断力、表現力等の基礎
- ★ 学びに向かう力、人間性等

② 「5つの力」と資質・能力のつながりから見える「学びの芽」

事例1 (4月)



環境構成
教師の援助

午前中の好きな遊びの時間に、◆すり鉢やじょうご・水などを使って花びらから色水を作っています。★給食後も「またしよう」と色水遊びを続けました。遊び込む中で、♥「いらっしやいませ」とお店屋さんごっこが始まったり、「赤いからリンゴジュース、こっちはオレンジジュース」などほかのものに例えたり、出来上がった色水をまぜてみたりして、遊びが広がりました。

感じる・気付く力

考える力



事例2 (5月)



環境構成
教師の援助

◆自分で作ったお面をつけて、役になりきって遊んでいます。子供同士が、お面を見ることで、♥「〇〇だ!」とイメージの共有をし、自然と役割分担が生まれました。また、子供たちが◆自分の手で大型積み木を使って遊び場を作っています。自分たちで大型積み木を動かすことで、♥「こんどは海にしよう」「ここはゴールだ」など新たなイメージを想像しています。さらに、遊びの中で★友だちのアイデアに「いいね」「そうしよう」と、友だちのよさに気付いたり、それを生かしたりしています。

考える力

うごく力

人とかかわる力



事例3 (6月)



環境構成
教師の援助

土山で、ダイナミックに頂上から水を流し、◆手を使って水の通る道を作ったり、樋を使って水の流れを変えたりしています。ホースから水を流す時に、◆虹が見えることに気付いて、♥様々な方向に水を撒いて虹が出るのか試しました。さらに、◆水を流してできた水たまりの泥を触ると気持ちがいいことに気づき、♥たくさん集めて「でっかいプリンができた」と、叩いてみました。◆素足で泥の中を歩き、場所によって泥が冷たいところもあれば、温かいところもあることに気付きました。♥泥がベタベタになる・泥に手形ができる・固まる等の変化をさせ、★何度も繰り返して、夢中で続けて遊んでいます。

感じる・気付く力

うごく力



事例4 (7月)



環境構成
教師の援助

梅雨が明け、◆子供たちは園庭の木からセミの鳴き声がすることに気付きました。セミを捕まえようと姿を探しますが、中々見付けられません。やっと教師と一緒に捕まえました。あみから飛んで逃げられてしまいます。木の上にいるセミを見付けましたが、♥「(虫取りあみが)セミに届かん」と、手を伸ばしてもあみが届きません。♥「もっとあみが長かったらいいのに」と子供がつぶやくと、教師と一緒に★あみに支柱を貼り付け、長くしたあみでまたセミ取りを始めます。

うごく力

やりぬく力



夏の自然環境を活かした遊びができるように、あらかじめ虫取りあみを自由に使える場所に用意してありました。「なつの歌」をクラスで歌い、興味が持てるようにしています。クラスの振り返りの時間でも、どうしたらセミが捕まえられるのか考え、「大きな声を出したけん逃げられたんよ」「足音も静かにせん」となどアイデアを出し合う時間を設けています。

3 まとめ

子供は遊び込む中で、「5つの力」と「三つの資質能力」を総合的に育み、発揮させ、「学びの芽」を体得しているのだと感じました。その「遊び」が実現できるには、教師の援助や子供の安心できる環境構成が必要なのだと分かりました。今後は、幼児教育の「学びの芽」を、小学校の「自発的な学び」にどのようにつなげていくかについて研修を深めていきたいです。

〈乳幼児教育支援センターより〉

幼児期の子供たちは、自分のしたい遊びを楽しむ中で、様々なものやこと、人と出会い、多くのことを知らず知らずのうちに学んでいます。遊びを通じて、学ぶことの楽しさを知り、積極的に物事に関わろうとする気持ちをもつようになる過程こそ、小学校以降の学習意欲へとつながります。